

たんぽぽだより



2021年 2月号

新しい年が始まってもう1ヶ月経ちました。一年前のたんぽぽだよりを読むと、コロナウイルスについて書いていました。一年経って状況は良いとは言えません。佐世保市内の保育園でもクラスターと言われる集団感染が発生しました。他人事ではありません。自分事として捉えなくてはならない状況です。しかし、あえて一年前と同じ内容を再度書きます。

マスクや消毒もある程度は有効です。しかし徹底的に除菌や消毒していても、かかっている人は居ます、「マスクは完全に感染症を防げるわけでは有りません」と書いてあります。

だから何より大事な事は、**コロナに負けない身体づくり**です。たんぽぽが 10 年以上ずーずーっと続けている事です。

わたしが身をもって体感している事で、何よりも**悪い事は疲れとストレス**です。これが一番免疫力を下げます。免疫力が下がった時にコロナウイルスに接触すれば、発症しますが、疲れもストレスもない状態ならコロナウイルスは体内で増えることが出来ずに、鼻水や汗や排泄によって体の外に排出されます。

一番効果的に疲れやストレスが取る方法それは……………

休むこと・夜に十分な睡眠をとる事と笑う事です。

この時期はお仕事が忙しくて、十分な休息が取れない人はコロナに掛かるリスクが高い事を知っておいてほしいです。

これは子どもたちも同じです。子どもたちは、自分で調節はできません。しかし、**機嫌が悪くなったり、甘えたりすることでちゃんとサインを出しています**。それをしっかりキャッチできるのは保護者さんたちであり、保育士です。

コロナに掛からないためにも、どうか保護者の皆様も子どもたちも、ゆったりした時間を作って笑顔忘れず免疫力を落とさないようにしてください。さらに食事に気を付けることでもっともっとパワーアップします。

たんぽぽの感染症対策（感染の状況が落ち着くまで）

- ・出来るだけ、密になる状態を作らないように、朝のおやつからお集まり、食事・3時のおやつは各クラス毎での活動に変更します。
- ・保育士は子ども達と別に食事をとります。
- ・子ども達の体調や様子がいつもと違う場合（熱以外でも機嫌や様子が違う場合）は、すぐに連絡をしますので、できるだけ早くの対応をお願いします。
- ・熱が出た場合は、大事をとって出来るだけ、翌日までのお休みをお願いします。

1月の苦情・ご提案について：特にありませんでした。

保育サロン
たんぽぽ

今月の目標：丈夫な身体作り～よく遊び・よく食べ・よく眠る～

つぼみ組【0歳児】：園庭や散歩先で冬の空気を感じながら身体を動かしたり探索を楽しむ。

気にいった玩具でじっくり遊び友達や保育士とのふれあい遊びを楽しむ。

もも組【1歳児】：寒い時期でも健康に過ごす。保育者や友だちと簡単なごっこ遊びを楽しむ。

保育者に誘われてトイレへ行き排尿した時の喜びを共感する。

ゆり組【2歳児】：友だちや保育者と一緒に身体を動かして元気に遊ぶ。お話遊びや製作遊びなど、自由に表現し楽しむ。

2月の保育内容

養護

つぼみ組：安心、安全な環境の中で感染予防に努め健康に過ごせるように配慮する。(手洗い、手指消毒、玩具消毒)一人ひとりの気持ちに寄り添いながら子ども同士の関係を見守ったり仲立ちをしたりしてみんなが心地よく過ごせるようにする。

もも組：空気が乾燥している為、活動前後は水分補給をし健康に過ごせるように配慮する。手洗いの方法などを知り、やってみようとする。豆まきに参加し行事を知る。意欲的に身の回りのことをしたり遊んだりする中で、友だちとの関りを楽しむ。

ゆり組：食事、排泄、衣類の着脱、身の回りを清潔にするなど自分でやってみようとする気持ちを大切に、意欲につながられるようにする。保育者に自分の思いを受け止めてもらったり共感してもらいながら信頼関係を深めていく。自分でできることを増やし、出来た時には一緒に喜ぶ。

教育

つぼみ組：自分のペースで食べることを楽しむ。衣服の着脱など身の回りのことを保育者と一緒に行いながら出来る喜びを感じる。遊びの中で約束事を少しずつ知る(順番を待つなど)言葉やしぐさなどの表現を受けとめてもらいながら言葉のやり取りをする。見守られている安心感の中で好きな遊びを楽しみ活発に活動する。絵本に興味をもち膝に座ってゆっくりした時間の中で読んでもらうことを楽しむ。

もも組：保育者や友だちと一緒に食事を楽しむ。スプーンを使う手やお皿に手を添えるなどマナーがあることを知る。保育者の言葉かけに応じてトイレへ行き、排尿が出来た時は一緒に喜ぶ。身の回りの事について自分で出来る事が増える。戸外で身体を十分動かして遊ぶ。友だちや保育者と一緒に簡単なごっこ遊びをする楽しさを味わう。あいさつを声に出してしようとする。(食事の挨拶)「いやだ」「自分でやる」など簡単な言葉で自分の気持ちを表現する。指先を使う遊びを通して、指の使い方を経験する。保育者や友だちと一緒にリズム遊びやわらべ歌を楽しむ。

ゆり組：お茶碗を持つ・手を添えるなど、食事のマナーを知り意識して食べる。感謝の気持ちをこめて食前・食後の挨拶をする。手洗いやうがいの大切さを知り、保育者に見守られながら進んで行く。寒さに負けず体を動かして遊ぶことを楽しむ。保育者や友だちと一緒に、ごっこ遊びや簡単なルールのある遊びを楽しむ。興味のある事や経験した事、絵本で好きな話等を表現する事を楽しむ。登園後の支度を自分から行う等、身の回りの事を意欲的に行う。冬の自然を感じ、散歩や戸外遊びで雪や氷、霜など自然物に触れて遊ぶ。ひな人形に感心を示し、描く、切る、貼るなどして製作をする。手遊びや伝承遊び等お友達と表現して遊ぶ楽しさを味わう。